

令和6年1月31日

瀬戸内市長
武久 顕也 殿

瀬戸内市立病院等運営審議会
会長 長田 建

答申書

(瀬戸内市立瀬戸内市民病院経営強化プランの策定について)

令和5年7月3日付け瀬戸内病第39号をもって諮問のあった件について、下記のとおり答申します。

記

当審議会は、瀬戸内市民病院経営強化プランの策定について、市長からの諮問にもとづき、4回にわたり慎重に審議を重ねた結果、下記のとおり結論を得たので、ここに答申する。

瀬戸内市民病院が市民に信頼され、地域の要請に応える病院として持続的な医療提供体制を構築するために、この答申の内容を十分尊重され、今後より一層健全な病院事業運営に努めるよう望むものである。

記

1. 瀬戸内市民病院経営強化プランについて
別添のとおり。
2. 資料
瀬戸内市民病院等運営審議会 委員名簿
諮問書（写し）
瀬戸内市民病院経営強化プラン策定経過

瀬戸内市立病院等運営審議会委員名簿

委員区分	氏名	備考
市民の代表者	久山 麻紀	小規模多機能居宅介護支援事業所
医療機関の関係者	長田 建	邑久医師会 副会長
福祉関係者	青山 祐志	瀬戸内市社会福祉協議会 事務局長
保健関係者	岩瀬 敏秀	岡山備前保健所 所長
学識経験者	辻 尚志	岡山赤十字病院 院長
市長が適当と認める者	山口 俊範	元瀬戸内市代表監査委員

諮問書

瀬戸内病第39号
令和5年7月3日

瀬戸内市立病院等運営審議会会長様

瀬戸内市長武久顕也

諮問書

瀬戸内市立瀬戸内市民病院経営強化プランの策定について(諮問)

瀬戸内市立病院等運営審議会要綱(平成17年3月31日訓令第9号)第2条第1項の規定により次の諮問事項について、調査及び審議のうえ貴審議会の意見を求めます。

記

1. 諮問事項

瀬戸内市立瀬戸内市民病院経営強化プランの策定について

2. 諮問理由

現状、公立病院は、医師・看護師等不足、人口減少や急速な少子高齢化に伴う医療需要の変化などの課題に直面しており、持続可能な地域医療提供体制を確保するためには、限られた医師・看護師等の医療資源を地域全体で最大限効率的に活用する視点を最重視し、新興感染症の感染拡大時等の対応という視点も持って、公立病院の経営を強化していくことが求められています。

こうした状況を踏まえ、令和4年3月に総務省は「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」を示し、このガイドラインを踏まえ、令和5年度中に公立病院経営強化プランの策定を要請しました。

つきましては、本計画の策定についてご審議のうえご意見をいただきたく、諮問するものです。

